

## 『マス・コミュニケーション研究』第 89 号原稿募集、申込締切延長のお知らせ

※ このほど会員からの指摘により、学会ウェブサイトにも原稿募集の記載がなかったことが明らかになったため、「申込締切」を1月28日から2月5日(金)に延長させていただきました。なお、編集作業の都合上、投稿の締め切りは会報でご案内の通りとさせていただきます。不手際お詫び申し上げます。

以下、会報に記載済みの投稿案内を再掲いたします。

---

次の要領で『マス・コミュニケーション研究』第 89 号(2016 年 7 月発行予定)の原稿 を募集します。投稿に当たっては、『マス・コミュニケーション研究』の最新号と学会サイトに掲載されている投稿規程及び執筆要領を遵守してください。なお、投稿原稿の掲載の可否・順番などは、編集委員会が決定します。掲載が決まった論文が多数の場合、一部の論文の掲載を次号へ送ることもあります。

1. 投稿資格 (1) 投稿申込の時点で、日本マス・コミュニケーション学会会員であること。(2) 投稿時点で、投稿年度までの学会費を完納していること。(3) 共著の場合は、すべての著者が(1)(2)の投稿資格を満たしていること。

### 【留意事項】

・非会員の方が投稿資格を得るためには、投稿申込の締切より前に開催される理事会で、入会が承認される必要があります。理事会は毎月開催されているわけではありませんのでご注意ください。

・2016 年度春季研究発表会での個人・共同研究発表に応募される方が投稿を希望される場合は、編集委員会までお問い合わせください。

※ 編集委員会 Email:editormscom@hotmail.co.jp

## 2. 投稿原稿

(1) テーマ 本学会の趣旨に添うもの。

[参考]マス・コミュニケーション学会規約第 3 条 本学会は新聞・放送・映画・雑誌等ジャーナリズムおよびマス・コミュニケーション に関する研究、調査ならびにその研究者相互の協力を促進し併せて外国の学会との連絡 を図り、以て我が国文化の向上に貢献することを目的とする。

(2) 内 容 未公刊の論文「論文」とは、独創性・新規性のある研究成果を論理的・実証的に展開した内容のもの。

(3) 形 式

① 原稿を記述するための言語は、日本語とする。

② 原則として、Word あるいはテキスト形式で作成した原稿に限る。

③ 原稿は、1 頁あたり 40 字×35 行で作成する。

④ 図表等は、本文中に、内容が判別できる大きさを挿入する。なお、本文中に電子データで図表等を挿入することができない場合は、図表等が挿入されるべきスペースを空白にし、郵送するハードコピーの該当箇所に貼り込む。

⑤ 別途掲載の「執筆要領」に記された点に注意して記述する。

(4) 分量 上記(3)の形式で作成した原稿 15 枚以内(タイトル・本文・注・参考文献・図表等を含む)。

【留意事項】 上記の分量を超過している論文は、理由の如何を問わず受理しませんのでご注意ください。

3. 投稿申込要領 今回、投稿を希望される方は、下記に掲げる①～④の内容を記載した投稿申込の文書を、Word あるいはテキスト形式で作成し、そのファイルを電子メールに添付して送付してください。送付先と申込締切は次のとおりです。

[送付先及び申込締切]

送付先: 国際文献社内 日本マス・コミュニケーション学会 会員業務係 Email: mscom-post@bunken.co.jp (Tel 03-5937-0329)

申込締切: 2016 年 2 月 5 日(金)

※必着厳守(受領確認のメールを送ります。もし受領確認メールが届かない場合には、再送してください。)

[投稿申込の文書の記載内容]

① 論文タイトル(仮題でも可)

② 執筆者の氏名、所属機関・職名、自宅の住所及び電話番号、E メールアドレス

③ 論文の概要(400 字程度)

④ 目次(簡単なもので可)

【留意事項】 論文の提出を辞退する場合は、投稿締切までに、電子メールで、上記の送付先へその旨を連絡してください。

4. 投稿要領 原稿を投稿する際には、①原稿(タイトル・本文・注・参考文献・図表等)のハードコピー4部を送付し、かつ、②原稿のファイル(Word あるいはテキスト形式)を電子メールに添付して送付してください(①②とも必須)。送付先と投稿締切は次のとおりです。

[送付先及び投稿締切(※①②とも必須)]

①原稿のハードコピー(4部)

送付先: 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 (株)国際文献社内 日本マス・コミュニケーション学会 会員業務係 (Tel 03-5937-0329)

投稿締切: 2016 年 2 月 11 日(木)※当日消印有効

②原稿のファイル(電子メールに添付して送付)

送付先: 国際文献社内 日本マス・コミュニケーション学会 会員業務係 Email: mscom-post@bunken.co.jp (Tel 03-5937-0329)

投稿締切: 2016年2月11日(木) ※必着厳守(受領確認のメールを送ります。もし受領確認メールが届かない場合には、再送してください)

#### 【留意事項】

・上記の①(原稿のハードコピー4部)と②(原稿のファイル)のうち、いずれか一方でも締切に間に合わなかった場合は、投稿を受け付けませんので、十分にご注意ください。また、ハードコピーの部数が足りない場合など、投稿内容に不備がある場合も投稿を受け付けませんので、併せてご注意ください。

・原稿のファイルの容量が大きくて電子メールで送付できない場合は、CD等の媒体にファイルを保存して、ハードコピーと一緒に送付してください。その場合は、②(原稿のファイル)の投稿締切までに、送付先へ電子メールでその旨を連絡してください。連絡がなかった場合は、投稿を受け付けないこともありますのでご注意ください。

・原稿には表紙をつけ、表紙には、タイトル、執筆者の氏名、所属機関・職名、自宅の住所及び電話番号、Eメールアドレス、を記載してください。

・査読者に投稿者が誰であるかを特定されないことがないように、原稿(表紙を除く部分)のヘッダ一部や本文中に、投稿者の氏名・所属等を記載しないでください。この要件が満たされていない場合は、投稿を受け付けないこともありますのでご注意ください。

(氏名・所属などの記載が必要な場合には、掲載が決まって、初校を校正する際に加筆してください。)

※氏名、所属などが判別されやすい記述の例「拙著『(文献名)』で論じたように」「本論文は科研費(研究代表者名)による共同研究の一部である。」「本調査は著者が所属する(大学名)の学生を対象にした。」

#### 5. その他

・査読の結果、一部修正または修正無しで掲載が認められた論文については、後日、英文のタイトルと氏名、要旨(300語以内の英文と同内容の和文)の提出をお願いすることになります。英文要旨は、主題、目的、分析方法、結論を簡潔に記し、可能な限りネイティブ・スピーカーのチェックを受けて提出してください。

・お送りいただいた原稿等は原則としてお返しいたしませんので、ご承知おきください。『マス・コミュニケーション研究』は年2回の発行を予定しており、それに合わせて、投稿原稿の締め切りを年2回設定します。